高次脳機能障害

交通事故や頭部のけが、脳卒中や感染症などで脳が部分的に損傷を受けたことにより、言語・思考・学習・記憶などの機能に障害が起きた状態を言います。

本人も障害を自覚しにくいのが特徴です。また周囲の理解が得られにくい障害とも言われています。

* 高次脳機能障害の原因

外傷性脳損傷

※交通事故や スポーツの事故など

脳卒中

※脳梗塞や脳出血くも膜下出血など

脳腫瘍 脳炎

低酸素脳症

* 高次脳機能障害の症状

- ちょっとしたことで怒ってしまう
- ·ひとつのことにこだわり続ける
- ・態度や行動が子どものようになる
- ・自分の障害を自覚できない
- ・自分から行動を起こせない
- あればあるだけ食べたり、お金を 使ったりする

記憶障害 社会的

- ・約束を守れない、忘れてしまう
- 新しいことが覚えられない
- ・大切なものをどこにしまったか わからなくなる
- ・何度も同じことを繰り返し質問する

・ぼんやりしている

- ・見落としが増えた
- ・作業が長く続けられない
- ・左側のものに気づきにくくなり 左にある物にぶつかってしまう

注意障害

行動障害

遂行機能

障害

- ・段取りよく行動できない
- 計画をたてられない
- ・物事の優先順位を決められない

失語症

- ·読み書きができない
- ・言葉の理解が難しい
- ・言葉が出てこない

* 高次脳機能障害の特徴

症状の種類や程度・回復の過程が一人ひとり違います

症状によっては、今までの生活を送ることに難しさを感じることもありますが、周囲の配慮によって生活しやすくなります。目標に合わせた支援を受けたり、対処法を獲得したりすることが重要です。

徐々に進行していく認知症とは異なります

時間をかけ、ゆっくりと回復していきます。

周囲や本人自身が障害に気づかないこともあります

身体に異常が無い、言葉が普通に話せるなど、一見すると何も障害がないように見えることも多くあります。周囲が本人の障害や困っていることに気づき、理解することが難しいという特徴があります。

* 高次脳機能障害の治療

高次脳機能障害は確立した治療方法がなく、社会復帰を目的としたリハビリテーションが中心になります。 一度低下した高次脳機能は少しずつ回復します。多くの場合は発症後半年から1年程の期間で著しく回復 すると言われ、低酸素脳症の方は5年程の期間でゆっくり回復することが多いと言われています。 その後は改善のスピードが鈍り、発症後2年程度経過すると、ほぼ症状が固定すると言われています。 適切なリハビリテーションを行い、その他の手段で生活を営む方法を獲得することができれば、より早く 社会への復帰が可能になります。





